

様式第3号 (第6条関係)

数字記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

人口動態調査死産票 3

平成 年 月 日 市区町村受付

統計法に基づく
基幹統計調査

平成 年 月 日 保健所受付

照会

市区町村符号及び保健所符号	支所 保健所	事件簿番号
---------------	--------	-------

(1) 父母の国籍	父	日本 韓国 中国 フリビン タイ 米国 英国 フランス ベルギー その他 不詳	(2) 父母の氏名及び年齢	父	母
	母	日本 韓国 中国 フリビン タイ 米国 英国 フランス ベルギー その他 不詳		満 歳	満 歳

(3) 死産児の男女別及び嫡出子か否かの別	男 女 不詳	嫡出子 嫡出以外	(4) 死産があったとき	年 月 日 午前 午後 時
-----------------------	--------	----------	--------------	---------------

(5) 死産があったときの母の住所	日本 外国 不詳	都道府県	市、郡、東京都の区	町、村、指定都市の区
届市区町村	届市区町村以外	市区町村符号	保健所符号	指定都市の町、字、丁目、番地、番号、アパート・マンション、様方

(6) 死産があったときの世帯の主な仕事	1農家 2自営 3勤 4勤II 5その他 6無格	(7) 死産があったときの父母の職業	父 母	(8) この母の出産した子の数	出生子 妊娠満22週以後の死産児 妊娠満21週以前の死産児
----------------------	--------------------------	--------------------	-----	-----------------	-------------------------------

(9) 妊娠週数	満 週 日	(10) 死産児の体重及び身長	g 不詳	(11) 胎児死亡の時期 (妊娠満22週以後の自然死産)	1分娩前 2分娩中 3不詳
----------	-------	-----------------	------	------------------------------	---------------

(12) 死産があったところの種類	1病院 2診療所 3助産所 4自宅 5その他	(13) 単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)	3不詳	(14) 死産の自然人工別	1自然 2胎による人工死産 3胎に由来しない人工死産 4不明
-------------------	------------------------	--------------	-----------------	-----	---------------	--------------------------------

(15) 胎児の側	母の側
-----------	-----

I 自然死産の原因若しくは理由又は人工死産の理由	(ア) 直又は接は原因	理由
	(イ) (ロ) の原因	理由
	(ウ) (イ) の原因	理由
	(エ) (ウ) の原因	理由
	II 胎児に及ぼした影響病名等	理由

母体に保つてよめる場合	1母体側の疾患 2その他	疾患名又は理由
	母体に保つてよめない場合	1母体側の疾患 2その他

(16) 胎児手術の有無	1無 2有	部位及び主要所見	(17) 死胎解剖の有無	1無 2有	主要所見	(18) 死産に立ち会った者	1医師 2助産師 3その他
--------------	-------	----------	--------------	-------	------	----------------	---------------

双子以上の場合には他の子の事件簿番号	出生票第 号	死産票第 号	確認欄	備考
--------------------	--------	--------	-----	----

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
 この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。
 この調査の実施に当たっては、特に必要がある場合には、資料の提出のお願いや関係者の方々への照会を行うことがあります。

様式第4号(第6条関係)

数字記入例

0123456789

人口動態調査婚姻票

統計法に基づく
基礎統計調査

支所 保健所	事件簿番号	照会
市区町村符号及び保健所符号	平成 年 月 日 市区町村受付	平成 年 月 日 保健所受付

(1) 市区町村 受付月 年 月 日 夫 氏名及び生年月日 妻 年 月 日

(2) 夫の住所
 日本 外国 都道府県 市、郡、東京都の区 町、村、指定都市の区(指定都市の町、字、丁目以下は記入しないでください)

(3) 国籍
 夫 妻

(4) 婚姻後の夫婦の氏名
 夫の氏 妻の氏

(5) 同居を始めたとき
 年 月 日

(6) 初婚・再婚の別
 夫 妻 初婚 再婚 死別 再婚 死別 再婚

(7) 同居を始める前のそれぞれの世帯の主な仕事
 1 職業 2 自営 3 勤 4 勤 5 その他 6 無職 7 職業 8 自営 9 勤 10 勤 11 その他 12 無職

確認欄
 備考

この調査は、統計法に基づく基礎統計を作成するために行う調査です。
 この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。
 この調査の実施に当たっては、特に必要がある場合には、資料の提出のお願いや関係者の方々への照会を行うことがあります。

様式第5号 (第6条関係)

数字記入例

0123456789

人口動態調査離婚票 5

統計法に基づく
基幹統計調査

市区町村符号及び保健所符号 支所 保健所	市区町村受付 平成 年 月 日	保健所受付 平成 年 月 日	照会
事件簿番号	市区町村受付 平成 年 月 日	保健所受付 平成 年 月 日	照会

市区町村受付月	夫 (1) 氏名及び生年月月	妻
市区町村	夫	妻
国	国籍	婚姻の成立と*
夫	不詳	同居の期間
妻	不詳	未成年の子の数
籍	離婚の種類	夫が離婚を行う子 妻が離婚を行う子
別居する前の住所	別居する前の住所	別居する前の住所

別居する前の世帯の主な仕事	別居する前の夫の職業
1. 職業 2. 自営 3. 勤 4. 勤 5. 勤 6. 無職	夫 妻

備考
欄

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっている市区町村には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。
この調査の実施に当たっては、特に必要がある場合には、資料の提出をお願いや関係者の方々への照会を行うことがあります。

調査名	国民生活基礎調査
URL	http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-20.html (平成20年小規模調査) http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-19-1.html (平成19年大規模調査) http://www.mhlw.go.jp/toukei/chousahyo/index.html (調査票一覧)
調査の頻度	毎年(ただし、昭和61年を初年として3年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年は小規模な調査を実施する)
最新調査年	平成19年(大規模調査の最新の報告書公表年)、平成20年(小規模調査の最新の報告書公表年)
調査の目的	この調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とするものであり、昭和61年を初年として3年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年は小規模な調査を実施することとしている。 平成19年は、第8回目の大規模調査を実施した。
調査の沿革	
調査の対象及び客体	(平成19年大規模調査) 全国の世帯及び世帯員を対象とし、世帯票及び健康票については、平成17年国勢調査区から層化無作為抽出した5,440地区内のすべての世帯及び世帯員を、介護票については、同地区から無作為に抽出した2,500地区内の要介護者・要支援者を、所得票及び貯蓄票については、前記の5,440地区に設定された単位数から無作為に抽出した2,000単位数内のすべての世帯及び世帯員を客体とした。 (注:「単位数」とは、推計精度の向上、調査員の負担平準化等を図るため、一つの国勢調査区を地理的に分割したものである。)
調査の方法及び系統	世帯票、健康票、介護票及び貯蓄票については、あらかじめ調査員が配布した調査票に世帯員が自ら記入し、後日、調査員が回収する方法により行った。ただし、健康票、貯蓄票については、密封回収する方法により行った。 所得票については、調査員が世帯を訪問し、面接聞き取りの上、調査票に記入する方法により行った。
調査の期日及び期間	(平成19年大規模調査) 世帯票・健康票・介護票:平成19年6月7日(木) 所得票・貯蓄票:平成19年7月12日(木)
調査事項	(平成19年大規模調査) 世帯票:単独世帯の状況、5月中の家計支出総額、世帯主との続柄、性、出生年月、配偶者の有無、医療保険の加入状況、公的年金・恩給の受給状況、公的年金の加入状況、乳幼児の保育状況、就業状況等 健康票:自覚症状、通院、日常生活への影響、健康意識、悩みやストレスの状況、こころの状態、健康診断等の受診状況等 介護票:介護が必要な者の性別と出生年月、要介護度の状況、介護が必要となった原因、居宅サービスの利用状況、主に介護する者の介護時間、家族等と事業者による主な介護内容等 所得票:所得の種類別金額、所得税等の額、生活意識の状況等 貯蓄票:貯蓄現在高、借入金残高等
結果の集計調査票等	結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。 次ページに添付(平成19年度)
集計客体数	(平成19年大規模調査) 調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりであった。 世帯票・健康票:調査客体数287,807世帯、回収客体数230,596世帯、集計客体数(集計不能のものを除いた数)229,821世帯、所得票・貯蓄票:調査客体数36,285世帯、回収客体数36,285世帯、集計客体数(集計不能のものを除いた数)23,513世帯、介護票:調査客体数6,165人、回収客体数5,745人、集計客体数(集計不能のものを除いた数)5,495人
他の調査との関連	(平成19年大規模調査) 平成17年国勢調査区から層化無作為抽出した地区内から対象が抽出されている。
関連情報URL	平成22年国民生活基礎調査の課題と対応(WAM NET) http://www.wam.go.jp/wamappl/bb11GS20.nsf/0/32dc259b2185ef44492575cb00195f60/\$FILE/20090608_3sankou1~3.pdf ぜん息等国民生活基礎調査(環境再生保全機構) http://www.erca.go.jp/asthma2/library/statistic/life.html
関連出版物	厚生労働省大臣官房統計情報部:国民生活基礎調査平成20年.厚生統計協会.2010. 厚生労働省大臣官房統計情報部:国民生活基礎調査平成19年.厚生統計協会.2009.
関連論文例	吉見逸郎:【禁煙を科学する】わが国の喫煙状況.総合臨床2008,57(8):2054-2060. 遠藤久夫,山田篤裕:介護保険の利用実態と介護サービスの公平性に関する研究.医療経済研究2007,19(2):147-167. 橋本英樹:国民生活基礎調査における健康のとらえ方に関する基礎的検討.厚生指標2005,52(11):14-22. 塚原康博:外来患者による大病院選択の規定要因「国民生活基礎調査」の個票データを用いた実証分析.医療経済研究2004,14:5-16. 川戸美由紀,橋本修二,松村康弘,小栗重統,岡山山明,中村好一,柳川洋:国民生活基礎調査と国民栄養調査のレコーディングに基づく自覚症状と生活習慣の関連.厚生指標2003,50(13):8-13.
調査精度に関する課題	①国勢調査と同様に、調査員が各世帯を訪問する形式で実施されており、不在世帯の増加等の理由による回収率の低下がある。 ⇒調査票も自記式になってきているので、回収方法はひとつの方法に限らなくてもよいのではないか。たとえば、若い年代に対しては、インターネットによる実施を行った場合にどの程度補完できるのか、検討してもよいのでは。

国民生活基礎調査【世帯票】

(平成19年6月7日調査)

調査員が記入

地区 番号					単 位 番 号			世 帯 番 号	
----------	--	--	--	--	------------------	--	--	------------------	--

保健所名 _____
調査員氏名 _____

調査票に記入した内容は、統計を作る目的以外には使用いたしませんので、ありのままをお答えください。

記入上のお願い

- ・『記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が回収に来たときにお尋ねください。
- ・あなたの世帯について、平成19年6月7日現在の状況をお答えください。
- ・数字は右づめで記入し、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・世帯とは、ふだん住居と生計を共にしている人々（世帯員）の集まりをいいます。
- ・世帯員には、旅行などで一時的（3か月以内）に自宅を離れている人、入院・入所している人（住民登録を施設に移している人は除きます。）、船員など就業場所を移動する人も含みます。

I 世帯の状況

質問1 世帯員数

ふだん一緒にお住まいで、生計を共にされている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。
(一時的に不在の方を含みます。)

	人	世帯員数が1人(単独世帯)である場合は、次の質問にもお答えください。
--	---	------------------------------------

質問1-1 単独世帯の状況

あてはまる番号に○をつけてください。

1 住み込み、寄宿舍等に居住する単独世帯 2 その他の単独世帯	→	(単身赴任か否か) 1 単身赴任者である 2 単身赴任者でない
------------------------------------	---	---------------------------------------

質問2 同居していない方の状況

単身赴任などで同居していない方がいる場合は、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	単身赴任で世帯を離れている者がいる
2	学業のため世帯を離れている者がいる
3	老人福祉施設に入所している者がいる
4	社会福祉施設(老人福祉施設を除く。)に入所している者がいる
5	病院に長期入院している者がいる (住民登録も病院に移している場合のみ)
6	1から5の者はいない

裏面に続きます。

質問3 住居の種類

お住まいの住居についてお答えください。

<p>1 持ち家</p> <p>2 民間賃貸住宅</p> <p>3 社宅・公務員住宅等の給与住宅</p> <p>4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅</p> <p>5 借間・その他</p>	<p>→</p>	<p>1 一戸建て</p> <p>2 共同住宅 (マンション、アパート等)</p>
---	----------	---

質問4 室数及び床面積

室数について、居住用の部屋数（玄関や風呂等を含めないでください。）を記入してください。また、床面積は、玄関や廊下等も含めた住宅全体のおおよその床面積を記入してください。

<p>〈室数〉</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 20px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">室</p>	<p>〈床面積〉</p> <p>(換算)</p> <p>1 坪 = 3.3 m² = 2 畳</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 40px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 100px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">m²</p>
--	---	---

質問5 平成19年5月中の家計支出総額

5月中の世帯の方全員の支出金額の合計額を記入してください。

<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 60px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">万円</p>	<p>右の費用は家計支出には含めないでください。</p>	<p>(税金、社会保険料、事業上の支払い(農家における肥料や農具、商店における商品の仕入れに使った金等)、貯蓄、借金や住宅ローンなどの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料)</p>
---	------------------------------	--

質問5-1 育児にかかった費用

小学校入学前の方がいる場合、平成19年5月中の家計支出総額のうち、育児にかかった金額を記入してください。

<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 40px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">万</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 30px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">千円</p>	<p>※育児費用とは、ミルク代、離乳食代、医療費、保育料、衣服費、おもちゃ代、その他育児にかかった費用のすべてが入ります。</p>
---	--	---

質問5-2 仕送りの費用

平成19年5月中の家計支出総額のうち、別居している親又は子への仕送りの状況をお答えください。仕送りの目的については、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

別居している親へ	<p>〈仕送りの有無〉</p> <p>1 仕送りあり →</p> <p>2 仕送りなし</p> <p>3 別居している親はいない</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈仕送りの目的〉</p> <p>1 入所・入院費</p> <p>2 その他</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈仕送り額〉</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 60px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">万円</p> </td> </tr> </table>	<p>〈仕送りの目的〉</p> <p>1 入所・入院費</p> <p>2 その他</p>	<p>〈仕送り額〉</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 60px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">万円</p>
<p>〈仕送りの目的〉</p> <p>1 入所・入院費</p> <p>2 その他</p>	<p>〈仕送り額〉</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 60px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">万円</p>			
別居している子へ	<p>〈仕送りの有無〉</p> <p>1 仕送りあり →</p> <p>2 仕送りなし</p> <p>3 別居している子はいない</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈仕送りの目的〉</p> <p>1 学業</p> <p>2 その他</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>〈仕送り額〉</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 60px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">万円</p> </td> </tr> </table>	<p>〈仕送りの目的〉</p> <p>1 学業</p> <p>2 その他</p>	<p>〈仕送り額〉</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 60px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">万円</p>
<p>〈仕送りの目的〉</p> <p>1 学業</p> <p>2 その他</p>	<p>〈仕送り額〉</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; width: 60px;"></div> </div> <p style="text-align: right;">万円</p>			

引き続き「Ⅱ 世帯員の状況」についてもお答えください。

調査員が記入

地区番号	単位区番号	世帯番号	—
------	-------	------	---

II 世帯員の状況

すべての世帯員の方について、ひとり一列で記入してください。
なお、世帯員の記入順序は、夫婦・親子の関係がある方を順に並べて記入してください。

世帯員番号	(01)	(02)	(03)
質問1 最多所得者 調査日前1年間で所得(年金、仕送り等を含む)が最も多かった方の世帯員番号に○をつけてください。			
質問2 世帯主との続柄 世帯主の配偶者(夫又は妻)の祖父母・兄弟姉妹はそれぞれ「09 祖父母」「10 兄弟姉妹」に含めます。兄弟姉妹の配偶者は「10 兄弟姉妹」に含めます。	01 世帯主 02 世帯主の配偶者 03 子 04 子の配偶者 05 孫 06 孫の配偶者	07 世帯主の父母 08 配偶者の父母 09 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)	07 世帯主の父母 08 配偶者の父母 09 祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他の親族 12 その他(親族以外)
質問3 性	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
質問4 出生年月	1 明治 3 昭和 []年[]月 2 大正 4 平成 []年[]月	1 明治 3 昭和 []年[]月 2 大正 4 平成 []年[]月	1 明治 3 昭和 []年[]月 2 大正 4 平成 []年[]月
質問5 配偶者(夫又は妻)の有無	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別	1 配偶者あり 2 未婚 3 死別 4 離別
質問6 医療保険の加入状況 保険証又は組合員証を確認してお答えください。	国民健康保険 ↳ 1 市町村 ↳ 2 組合 被用者保険(政管健保、組合健保、共済組合等) ↳ 3 加入者本人 ↳ 4 家族(被扶養者) 5 その他	国民健康保険 ↳ 1 市町村 ↳ 2 組合 被用者保険(政管健保、組合健保、共済組合等) ↳ 3 加入者本人 ↳ 4 家族(被扶養者) 5 その他	国民健康保険 ↳ 1 市町村 ↳ 2 組合 被用者保険(政管健保、組合健保、共済組合等) ↳ 3 加入者本人 ↳ 4 家族(被扶養者) 5 その他
質問7 公的年金・恩給の受給状況 受給している場合、受給している年金等の番号すべてに○をつけてください。 なお、老齢年金のほか、障害年金、遺族年金も含めてお答えください。	受給している 1 基礎年金 2 基礎年金と厚生年金 3 基礎年金と共済年金 4 国民年金 5 福祉年金 6 厚生年金 7 共済年金 8 恩給 9 その他 10 受給していない	受給している 1 基礎年金 2 基礎年金と厚生年金 3 基礎年金と共済年金 4 国民年金 5 福祉年金 6 厚生年金 7 共済年金 8 恩給 9 その他 10 受給していない	受給している 1 基礎年金 2 基礎年金と厚生年金 3 基礎年金と共済年金 4 国民年金 5 福祉年金 6 厚生年金 7 共済年金 8 恩給 9 その他 10 受給していない

小学校入学前の方についてお答えください。

質問8 乳幼児(小学校入学前)の保育状況 日中に保育をしている方及び乳幼児が通所・通園している施設の番号すべてに○をつけてください。	1 乳幼児の父母 2 乳幼児の祖父母 3 認可保育所 4 認可外保育施設	5 幼稚園 6 その他
	1 乳幼児の父母 2 乳幼児の祖父母 3 認可保育所 4 認可外保育施設	5 幼稚園 6 その他

6歳以上の方についてお答えください。

質問9 手助けや見守りの要否 手助けや見守りを必要としていますか。	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としていない (裏面の質問10へ)	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としていない (裏面の質問10へ)	手助けや見守りを 1 必要としている 2 必要としていない (裏面の質問10へ)
質問9-1 要介護認定の有無 (40歳以上の方のみお答えください。) 実際にサービスを受けているかどうかは問いません。	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない	要介護認定を 1 受けている 2 受けていない
質問9-2 日常生活の自立の状況 最もあてはまるもの1つに○をつけてください。	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	1 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 4 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する
質問9-3 期間 現在の自立状況になってからの期間をお答えください。	1 1月未満 2 1～3月未満 3 3～6月未満 4 6月～1年未満 5 1～3年未満 6 3～5年未満 7 5～10年未満 8 10～20年未満 9 20年以上	1 1月未満 2 1～3月未満 3 3～6月未満 4 6月～1年未満 5 1～3年未満 6 3～5年未満 7 5～10年未満 8 10～20年未満 9 20年以上	1 1月未満 2 1～3月未満 3 3～6月未満 4 6月～1年未満 5 1～3年未満 6 3～5年未満 7 5～10年未満 8 10～20年未満 9 20年以上

主に手助けや見守りをしている方の状況についてお答えください。

質問9-4 性	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
質問9-5 同居の状況 主に手助けや見守りをしている方が同居している場合、その方の世帯員番号(最上段の番号)を記入してください。	1 同居している 2 同居していない (世帯員番号)	1 同居している 2 同居していない (世帯員番号)	1 同居している 2 同居していない (世帯員番号)
質問9-6 手助けや見守りが必要な方からみた続柄	1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者(ホームヘルパー等) 7 その他(ボランティア・近所の人など)	1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者(ホームヘルパー等) 7 その他(ボランティア・近所の人など)	1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 事業者(ホームヘルパー等) 7 その他(ボランティア・近所の人など)

15歳以上の方は引き続き裏面に記入をお願いします。同じ世帯員番号の列に記入してください。

ここからの質問は15歳以上の方がお答えください。(表面の世帯員番号と同じ列に記入してください。)

世帯員番号	01	02	03
質問10 公的年金の加入状況 加入している 20歳以上、60歳未満の方は原則として加入しています。 加入していない 20歳未満で仕事をしていない方、すでに老齢(退職)年金を受給している方、受給資格があるが受給待ちの方などが該当します。	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者(自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者(厚生年金・共済年金の加入者) 3 国民年金第3号被保険者(第2号被保険者の配偶者) 4 公的年金に加入していない	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者(自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者(厚生年金・共済年金の加入者) 3 国民年金第3号被保険者(第2号被保険者の配偶者) 4 公的年金に加入していない	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者(自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者(厚生年金・共済年金の加入者) 3 国民年金第3号被保険者(第2号被保険者の配偶者) 4 公的年金に加入していない
質問11 平成19年5月中の仕事の状況 収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」としてください。 無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児や介護のため、一時的に仕事を休んでいる場合も「仕事あり」とします。 なお、PTA役員やボランティアなど無報酬の活動も「仕事なし」とします。	仕事あり 仕事なし 1 主に仕事をしている 5 通学のみ 2 主に家事で仕事あり 6 家事(専業) 3 主に通学で仕事あり 7 その他 4 その他 (質問16へ)	仕事あり 仕事なし 1 主に仕事をしている 5 通学のみ 2 主に家事で仕事あり 6 家事(専業) 3 主に通学で仕事あり 7 その他 4 その他 (質問16へ)	仕事あり 仕事なし 1 主に仕事をしている 5 通学のみ 2 主に家事で仕事あり 6 家事(専業) 3 主に通学で仕事あり 7 その他 4 その他 (質問16へ)

質問11で「仕事あり」と回答した方がお答えください。

質問12 1週間の就業日数等 5月21日(月)~27日(日)の1週間に実際に仕事をした日数と時間の合計をお答えください。また、1日の平均の片道通勤時間をお答えください。 なお、複数の仕事をした場合は、それらを含めお答えください。	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の就業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間 【1日の平均の片道通勤時間】 <input type="text"/> 分	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の就業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間 【1日の平均の片道通勤時間】 <input type="text"/> 分	【就業日数】 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 【就業時間】 1週間の就業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間 【1日の平均の片道通勤時間】 <input type="text"/> 分
---	--	--	--

現在の主な仕事についてお答えください。

質問13 就業開始時期 主な仕事について、その仕事についた時期をお答えください。	1 大正 2 昭和 3 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1 大正 2 昭和 3 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1 大正 2 昭和 3 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
質問14 仕事の内容(職業分類) 主な仕事について、あてはまるもの1つに○をつけてください。	01 専門的・技術的職業従事者 02 管理的職業従事者 03 事務従事者 04 販売従事者 05 サービス職業従事者 06 保安監査従事者 07 農業従事者 08 林業従事者 09 漁業従事者 10 運輸・通信従事者 11 生産工程・労務従事者 12 分類不能の職業従事者	01 専門的・技術的職業従事者 02 管理的職業従事者 03 事務従事者 04 販売従事者 05 サービス職業従事者 06 保安監査従事者 07 農業従事者 08 林業従事者 09 漁業従事者 10 運輸・通信従事者 11 生産工程・労務従事者 12 分類不能の職業従事者	01 専門的・技術的職業従事者 02 管理的職業従事者 03 事務従事者 04 販売従事者 05 サービス職業従事者 06 保安監査従事者 07 農業従事者 08 林業従事者 09 漁業従事者 10 運輸・通信従事者 11 生産工程・労務従事者 12 分類不能の職業従事者
質問15 勤めか自営かの別 5, 6, 7 を選んだ方は下の質問15-1, 15-2をお答えください。	1 自営業主(雇人あり) 2 自営業主(雇人なし) 3 自家営業者(自家営業の手伝い) 4 会社・団体等の役員 5 一般常雇者(契約期間が1年以上又は雇用期間の定めのない者) 6 1年以上1年未満の契約の雇用者 7 日々又は1年未満の契約の雇用者 8 内職 9 その他 (質問17へ)	1 自営業主(雇人あり) 2 自営業主(雇人なし) 3 自家営業者(自家営業の手伝い) 4 会社・団体等の役員 5 一般常雇者(契約期間が1年以上又は雇用期間の定めのない者) 6 1年以上1年未満の契約の雇用者 7 日々又は1年未満の契約の雇用者 8 内職 9 その他 (質問17へ)	1 自営業主(雇人あり) 2 自営業主(雇人なし) 3 自家営業者(自家営業の手伝い) 4 会社・団体等の役員 5 一般常雇者(契約期間が1年以上又は雇用期間の定めのない者) 6 1年以上1年未満の契約の雇用者 7 日々又は1年未満の契約の雇用者 8 内職 9 その他 (質問17へ)
質問15-1 勤め先での呼称 「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいいます。	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員・嘱託 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員・嘱託 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員・嘱託 6 その他
質問15-2 企業規模・官公庁の別 本社・本店や出張所などを含めた企業全体の従業員数をお答えください。「官公庁」とは国の機関や地方自治体をいいます。	1 1~4人 2 5~29人 3 30~99人 4 100~299人 5 300~499人 6 500~999人 7 1000~4999人 8 5000人以上 9 官公庁	1 1~4人 2 5~29人 3 30~99人 4 100~299人 5 300~499人 6 500~999人 7 1000~4999人 8 5000人以上 9 官公庁	1 1~4人 2 5~29人 3 30~99人 4 100~299人 5 300~499人 6 500~999人 7 1000~4999人 8 5000人以上 9 官公庁

質問11で「仕事なし」と回答した方がお答えください。

質問16 就業希望の有無 収入を伴う仕事をしたいと思っ ている <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 したいと思っ ていない	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他 (質問17へ)	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他 (質問17へ)	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他 (質問17へ)
質問16-1 どのような形で仕事をしたいと思 いますか 主なもの1つに○をつけてください。	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他
質問16-2 すぐに仕事に 思っていますか	1 つける 2 つかない	1 つける 2 つかない	1 つける 2 つかない
質問16-3 仕事を 探していますか 現在採用結果を 待っている方も探 しているに○をつ けてください。	質問16-4 仕事につ けない理由 あてはまる番号すべ てに○をつけてくださ い。	質問16-3 仕事を 探していますか 1 探している 2 探していない	質問16-4 仕事につ けない理由 1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他
質問17 別居している子の有無	1 いる 2 いない (質問終了です。)	1 いる 2 いない (質問終了です。)	1 いる 2 いない (質問終了です。)
質問17-1 別居している子の人数	【人数】 <input type="text"/> 人 (質問終了です。)	【人数】 <input type="text"/> 人 (質問終了です。)	【人数】 <input type="text"/> 人 (質問終了です。)
質問17-2 最も近くに住んでいる別居の字の 居住場所	【居住場所】 1 同一家庭 2 同一敷地 3 近隣地域 4 同一市区町村 5 その他の地域	【居住場所】 1 同一家庭 2 同一敷地 3 近隣地域 4 同一市区町村 5 その他の地域	【居住場所】 1 同一家庭 2 同一敷地 3 近隣地域 4 同一市区町村 5 その他の地域

ご協力ありがとうございました。

秘

指定記録第 118 号
国民生活基礎調査

厚生労働省

国民生活基礎調査【健康票】

(平成 19 年 6 月 7 日調査)

調査員が記入

地区番号	単位区番号	世帯番号

記入上のお願ひ：お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。なお、12歳未満の方及び障害などのためにご自分で記入できない方については、保護者、介護者が協力して回答してください。また、ご自分ではわからない質問には、ご家族と相談のうえ記入してください。

1 男	1 明治	3 昭和	年	月	生
2 女	2 大正	4 平成			

【ここからの質問は、20歳以上の方がお答えください(20歳未満の方は質問終了です。)。】
質問 11 あなたは過去 1 年間に、健診等(健康診断、健康診断及び人間ドック)を受けたことがありますか。

1 ある
2 ない

次のようなものは健診等には含まれません
がんのみの検診、冠動脈造影検査、曹の健康診査、病院や診療所で行う診療と
しての検査

補問 11-1 どのような機会に健診等を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。また、直近の健診の番号についても番号記入欄に記入してください。

1 市区町村で行う健診(医療機関で行う場合も含む)	
2 職場における健診	
3 学校における健診	
4 人間ドック(市区町村や職場など上記 1~3 以外の健診で行うもの)	
5 その他	

直近の健診 -----> 番

※ 以後、直近の健診についてお伺いします。
補問 11-2 健診等の結果、何らかの指摘を受けましたか。(健診結果にあわせて書面に記載されている場合を含む。)

1 はい 2 いいえ

健診結果の記載例
血圧が高めなので塩分の摂取を控えましょう。
再検査を受けて下さい。医療機関を受診してください。 など

最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。(検査目的の受診を除く。)

1 はい 2 いいえ

その後、医療機関に行きましたか。
1 はい 2 いいえ

補問 11-3 健診等を受診したことをきっかけに、自分の健康管理に注意を払うようになりましたか。

1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

補問 11-4 それは、どのような理由で受けなかったのですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

01 知らなかったから	07 毎年受ける必要性を感じないから
02 時間がとれなかったから	08 健康状態に自信があり、必要性を感じないから
03 場所が遠いから	09 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
04 費用がかかると感じるから	10 結果が不安なため、受けたくないから
05 検査等(採血、胃カメラ等)に不安があるから	11 めんどくだから
06 その時、医療機関に入通院していたから	12 その他

質問 12 あなたは過去 1 年間に、がん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。
* これらのがん検診については、健診等(健康診断、健康診断及び人間ドック)の中で受診したものと見なします。

1 胃がん検診(胃がん検診)	4 乳がん検診
2 肺がん検診(胸部 X 線撮影検査(胸部 X 線)や CT 検査など)	5 大腸がん検診(便潜血検査(検便)など)
3 子宮がん検診	6 1~5 は受けていない

質問 1 あなたは病院や診療所入院、又は、介護保険施設に入所中ですか。

1 はい 2 いいえ

* 介護保険施設とは、介護施設(要介護施設、介護老人保健施設及び介護老人福祉施設)をいいます。

質問 2 あなたはここ数日、病氣やけなどが体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか。

1 ある 2 ない

補問 2-1 それは、どのような症状ですか。あてはまるすべての症状名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる症状の番号を番号記入欄に記入してください。

01 熱がある	15 せきやたんが出る	29 肩こり
02 体がだるい	16 鼻がつまる・鼻汁が出る	30 腰痛
03 眠れない	17 ゼイゼイする	31 手足の関節が痛む
04 いらいらしやすい	18 胃のもたれ、むねやけ	32 手足の動きが悪い
05 もの忘れする	19 下痢	33 手足のしびれ
06 頭痛	20 便秘	34 手足が冷える
07 めまい	21 気管支炎	35 足のむくみやだるさ
08 目のかすみ	22 腹痛、胃痛	36 尿が出にくい・排尿時痛い
09 物を見づらい	23 痔による痛み・出血など	37 尿失禁(尿が出る回数が多い)
10 耳なりがする	24 痔が痛い	38 尿失禁(尿がもれる)
11 きこえにくい	25 歯ぐきのはれ・出血	39 月経不順・月経痛
12 動悸	26 かみにくい	40 骨折、ねんざ、脱臼
13 思切れ	27 発疹(じんましん、できものなど)	41 切り傷、やけどなどのけが
14 胸膈部に痛みがある	28 かゆみ(湿疹、水虫など)	42 その他

最も気になる症状の番号記入欄 -----> 番

補問 2-2 最も気になる症状に対して、なんらかの治療をしていますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1 病院、診療所に通っている(住診、訪問診療を含む)	4 それ以外の治療をしている
2 あんま・はり・きゅう・氣道整復師(施術所)にかかっている	5 治療をしていない
3 死蔵のんだり、つけたりしている	

ご協力ありがとうございました。

次の頁の質問にお答えください。

質問3 あなたは現在、病弱(病氣やけが)で病院や診療所(医院、産科医院)、あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)に通っていますか。(往診、訪問診療を含む)

1 通っている 2 通っていない → 質問4へ

補問3-1 どのような病弱(病氣やけが)で通っていますか。あてはまるすべての病弱名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

01 痛風病	15 急性脳頭炎(かぜ)	31 喉頭の病氣
02 肥満症	16 アレルギ-性皮膚炎	32 新立腫肥大症
03 高血圧症(高コンチロール血圧)	17 喘息	33 前立腺炎(は閉塞性前立腺炎(非加齢性))
04 甲状腺の病氣	18 その他の呼吸器系の病氣	34 骨折
05 うつ病やその他のこころの病氣	19 胃、十二指腸の病氣	35 骨折以外のけが、やけど
06 認知症	20 肝臓、胆のうの病氣	36 貧血、血液の病氣
07 パーキンソン病	21 その他の消化器系の病氣	37 脱性新生物(がん)
08 その他の神経系の病氣(神経痛・神経痛)	22 傷の病氣	38 妊娠、産後(産後出血・産後出血)
09 眼の病氣	23 アトピー性皮膚炎	39 不妊症
10 耳の病氣	24 その他の皮膚の病氣	40 その他
11 高血圧症	25 痛風	41 不明
12 腹帯中(腰痛、肩凝り)	26 関節リウマチ	
13 狭心症・心筋梗塞	27 関節症	
14 その他の循環器系の病氣	28 肩こり症	
	29 腰痛症	
	30 骨粗しょう症	

最も気になる病弱の番号記入欄 →

質問4 あなたは、5月中に病氣やけが等で支払った費用(介護保険の利用者負担は含まれません。)はありましたか。支払った費用があった場合は、千円未満を四捨五入して記入してください。

(例:支払った費用が、1~499円の場合は「0」千円、500~1499円の場合は「1」千円になります。)

病氣やけがで支払った費用	1 あり	千円
(例:病院、診療所、保険診療などで支払った費用、出費の差や出費)	2 なし	
病氣の予防等で医療機関に支払った費用	1 あり	千円
(例:入用ドックや健康診断の費用、予防接種のために支払った費用)	2 なし	

注:1) 正務な病弱・分娩のために支払った費用は含みません。
2) お子さま方たちの費用を、保護者の方などが支払われた場合には、お子さま方たちの費用を併上してください。

質問5 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1 あり 2 なし → 質問6へ

補問5-1 それはどのようなことに影響がありますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1 日常生活動作(遠征、衣服着脱、食事、入浴など)	4 運動(スポーツを含む)
2 外出(時間や作業量などが制限される)	5 その他
3 仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)	

質問6 過去1か月の間に、健康上の問題で床にいたり、警報の活動ができなかった(仕事・学校を休んだ、家事ができなかった等)日数はどれくらいありましたか。

1 なし	2 あり	合計	日	
1 よい	2 まあよい	3 ぶつう	4 あまりよくない	5 よくない

質問8 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。

1 あり 2 ない → 質問9へ

補問8-1 それは、どのような原因ですか。あてはまるすべての原因の番号に○をつけてください。その中で最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

01 家族との人間関係	12 妊娠・出産
02 家族以外との人間関係	13 育児
03 恋愛・性に関すること	14 育生
04 結婚	15 自分の学業・受検・進学
05 離婚	16 子どもの教育
06 いじめ、セクシュアル・ハラスメント	17 自らの仕事
07 生きがいに関すること	18 家族の仕事
08 自由のできる時間がない	19 住まいや生活環境(公害、安全及び交通事情を含む)
09 収入・家計・借金等	20 その他
10 自分の病氣や介護	21 わからない
11 家族の病氣や介護	

最も気になる悩みやストレスの番号記入欄 →

補問8-2 悩みやストレスを、どのように相談していますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。また、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談していますか。あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

01 家族に相談している	06 病院・診療所の医師に相談している
02 友人・知人に相談している	07 テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している
03 職場の上司、学校の先生に相談している	08 01~07以外で相談している(職場の相談窓口等)
04 公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等の相談窓口(電話等での相談を含む))を利用して	09 相談したいが誰にも相談できないでいる
05 民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用して	10 相談したいがどこにも相談したらよいかわからない
	11 相談する必要があるが誰にも相談していない

最も気になる悩みやストレスの相談状況の番号記入欄 →

質問9 次のそれぞれの質問について、過去1か月の間はそのようなものであったか、あてはまる番号1つに○をつけてください。

種類	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
それをお、落ち着かなくなりましたか	1	2	3	4	5
気分が沈み込んで、何が原因でもよくない感じがしましたか	1	2	3	4	5
何をしても骨折りましたと感じましたか	1	2	3	4	5
自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

質問10 あなたはたばこを吸いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 吸わない	→ 1日に平均して何本
2 毎日吸っている	→ くらい吸いますか。
3 時々吸う日がある	
4 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	

【 20歳未満の方は質問終了です。】 次の頁の質問にお答えください。

【 12歳未満の方は質問終了です。】

統計 国民生活基礎調査

国民生活基礎調査【介護票】

(平成19年6月7日調査)

調査員が記入

地区番号	市区町村番号	世帯番号

記入上のお願

- 『記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ご自分で記入できない方については、介護をしている方、又は、ご家族の方が回答してください。

質問1 この調査票に回答する方はどなたですか。
あてはまる番号に○をつけてください。

1 介護が必要な者(本人)	3 配偶者	4 子	5 子の配偶者
2 主に介護をしている者	6 父母	7 その他	
その他の者(1, 2以外)			

質問2 介護が必要な方の性と出生年月をお答えください。
あてはまる番号に○をつけ、出生年月には数字を右づめて記入してください。

(1) 性	(2) 出生年月
1 男 2 女	1 明治 2 大正 3 昭和
	年 月

質問3 調査日現在の要介護度の状況と1年前の要介護度の状況をお答えください。
あてはまる番号に○をつけてください。

* 介護保険被保険者証等を参考に記入してください。

現在(平成19年6月)

1 軽度の要介護	2 要支援1	3 要支援2	4 要介護1	5 要介護2	6 要介護3	7 要介護4	8 要介護5
1年前(平成18年6月)							

01 経過的要介護(要支援)	02 要支援1	03 要支援2	04 要介護1	05 要介護2	06 要介護3	07 要介護4
08 要介護5	09 自立と認定された	10 認定を申請中であつた	11 認定を申請していなかつた			

次の頁の質問にお答えください。

質問9 次のような介護を、どなたがしていますか。
あてはまる欄すべてに○をつけてください。

* その介護について「事業者(ホームヘルパー等)」「主に介護する者」「その他の者」の複数から要けている場合は、あてはまる欄すべてに○をつけてください。

介護内容	事業者(ホームヘルパー等)による介護			主に介護する者			その他の者		
	1	2	3	01	02	03	04	05	06
01 洗濯	1	2	3	09 食事の準備・後始末(調理を含む)	1	2	3		
02 □洗濯機(はみがき等)	1	2	3	10 食事介助	1	2	3		
03 身体(浴槽)の清拭(体を拭く)	1	2	3	11 服薬の手助け	1	2	3		
04 洗髪	1	2	3	12 散歩	1	2	3		
05 着替	1	2	3	13 掃除	1	2	3		
06 入浴介助	1	2	3	14 洗濯	1	2	3		
07 体位交換・転居(寝まわりやほろこま等)	1	2	3	15 買い物	1	2	3		
08 排泄介助	1	2	3	16 話し相手	1	2	3		

質問10 5月中に事業者を支払った居宅サービスの自己負担額を記入してください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

* 質問5で回答した居宅サービスの費用についてお答えください。
* 保管しているサービスの領収証(簿)を参考に記入してください。

質問11 介護が必要な方が65歳以上の場合、介護保険料所得段階をお答えください。

* 介護保険料納付決定通知書に記載されている所得段階区分と同じ番号に○をつけてください。

1 第1段階	2 第2段階	3 第3段階	4 第4段階	5 第5段階	6 第5段階以上
--------	--------	--------	--------	--------	----------

質問12 5月中の介護費用についてお答えください。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 介護が必要な者(あるいは配偶者)の収入を充てた。	→	(1 年金・恩給 2 年金・恩給以外の収入)
2 介護が必要な者(あるいは配偶者)の貯蓄を充てた。		
3 介護が必要な者(あるいは配偶者)以外の者の収入・貯蓄を充てた。		

ご協力ありがとうございました。

質問4 介護が必要となった原因は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、かつ、その中で主な原因である番号1つを主な原因欄に記入してください。

01	脳血管疾患（脳卒中）	… 脳出血、脳こうそく、くも膜下出血、脳こうそく、くも膜下出血、その他の脳血管疾患及びその後遺症など
02	心疾患（心臓病）	… 狭心症、心筋こうそく、不整脈、心筋炎、その他の心臓疾患
03	悪性新生物（がん）	… すべての部位のがん（白血病を含む）及び肉腫
04	呼吸器疾患	… 肺炎、気管支炎、肺気腫、肺気腫、胸腺疾患など
05	関節疾患	… 関節リウマチ、何らかの原因による関節炎、関節症、腰痛症
06	認知症	… 認知症（アルツハイマー病等）
07	パーキンソン病	
08	糖尿病	… 糖尿病及び糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症などの合併症
09	痴呆・痴呆障害	… 脳内症、細胞はくり、癡癡など
10	骨折・転倒	… 屋内外を問わず、何らかの原因で骨折又は転倒したもの
11	骨髄損傷	… 骨折に伴って骨髄の挫傷、断裂、血行障害により骨髄の機能が傷害されたもの
12	高齢による衰弱	… 特にこれといった病気と診断されないものの、老いて体の機能が衰弱したもの
13	その他	… 具体的に記入してください（ ）
14	わからない	

主な原因 番号

質問5 5月中に利用した居宅サービスについて、利用したサービスの番号すべてに○をつけ、利用した日数又は食数を記入してください。

サービスの種類 (1～4は介護保険制度による居宅サービスをいいます。)	5月中のサービス利用日数 介護保険、市町村事業等	全額自己負担
1 訪問系のサービス 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、介護予防訪問介護、介護予防訪問入浴介護、介護予防訪問リハビリテーション、夜間対応型訪問介護	日	日
2 通所系のサービス 通所介護、通所リハビリテーション、介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護	日	日
3 短期入所サービス 短期入所生活介護、短期入所看護介護、介護予防短期入所生活介護、介護予防短期入所看護介護	日	日
4 小規模多機能型居宅介護	日	日
5 配食サービス	食	食
6 外出支援サービス	日	日
7 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス	日	日

1～4を利用していない方は質問6へお進みください。

1～4を1つでも利用している方は質問7へお進みください。

(質問6は、質問5の1～4のサービス（介護保険によるサービス）を1つも利用していない方がお答えください。)

質問6 介護保険によるサービスを受けていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1	家族介護でなんとかやっていける
2	介護が必要な者（本人）でなんとかやっていける
3	他人を家に入れてたくない
4	外出するのが大変
5	どのようなサービスがあるかわからない
6	サービスを受ける手続きがわからない
7	利用者が負担が払えない
8	受けたいサービスがない
9	その他 具体的に記入してください（ ）

(引き続き質問7からお答えください。)

質問7 主に介護をしている方の1日の平均的な介護時間はどのくらいですか。あてはまる番号に○をつけてください。

* 介護時間の程度が毎日でなく、数日に1度の場合は「5 その他」に○をつけてください。

1	ほとんど終日	2	半日程度	3	2～3時間程度	4	必要ときに手をかす程度	5	その他
---	--------	---	------	---	---------	---	-------------	---	-----

質問8 その他の介護者（主に介護をしている方以外で介護をしている方）がいる場合、その状況をお答えください。ただし、事業者（ホームヘルパー等）は除きます。

(1) 人数	その他の介護者	人
--------	---------	---

このうち介護をしている時間が最も長い方の状況を記入してください。

(2) 同別居	1 同居している者	別居している場合は居住場所をお答えください	2 同一家庭・敷地	3 同一市区町村		
(3) 性	1 男	2 女				
(4) 年齢	1 19歳以下	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳		
(5) 要介護者との続柄	1 配偶者	2 子	3 子の配偶者	4 父母	5 その他の親族	6 その他
(6) 介護頻度	1 ほぼ毎日	2 週2～4日	3 週に1日	4 月に1～3日		

次の頁の質問にお答えください。

指定統計第116号
国民生活基礎統計

国民生活基礎調査【所得票】

(平成19年7月12日調査)

地区番号	単位区番号	世帯番号
------	-------	------

世帯区分	1 単身赴任者の世帯
	2 単身赴任者を送り出している世帯
	3 その他の世帯

福祉事務所名

調査員氏名

	(1) 性	1 男		2 女		1 男		2 女		1 男		2 女		
		1 明治	2 大正	3 昭和	4 平成	1 明治	2 大正	3 昭和	4 平成	1 明治	2 大正	3 昭和	4 平成	
(2) 出生年月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		
所得の種類	(3) 雇用者所得	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(4) 事業所得	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(5) 農耕・畜産所得	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(6) 家内労働所得	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(7) 財産所得	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(8) 公的年金・恩給	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(9) 雇用保険	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(10) 子の他の社会保険給付金	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(11) 仕送り	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(12) 企業年金・個人年金等	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	(13) その他の所得	万円		万円		万円		万円		万円		万円		
	課税の状況	(14) 所得税	万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円	
		(15) 住民税	万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円	
(16) 社会保険料 (①~④の合計)		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		
① 医療保険		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		
② 年金保険		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		
③ 介護保険	万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円			
④ その他 (雇用保険等)	万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円			
(17) 固定資産税 (事業関係分を除く)	万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円			
掛金	(18) 企業年金・個人年金等	万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		万 千円		

(19) 生活意識の状況 (現在の暮らしの状況を総合的にみてどう感じていますか。)

- 1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 普通
4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある

備考欄

秘

指定統計第116号
国民生活基礎統計

厚生労働省

国民生活基礎調査【貯蓄票】


(平成19年7月12日調査)

調査員が記入

地区番号					単位区番号					世帯番号				
------	--	--	--	--	-------	--	--	--	--	------	--	--	--	--

質問1 あなたの世帯に以下に掲げる貯蓄はありますか (平成19年6月末日現在)。
あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 郵便局、銀行、信用金庫、農業協同組合などの金融機関への貯金 (預金) (通常貯金・普通預金、定額・定期貯金 (預金)、積立貯金 (預金)、当座預金等)	1 有	2 無
(2) 生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険 (郵便局の保険商品・年金型商品) のこれまでに払い込んだ保険料 (掛け捨ての保険は除きます)。 【計算例】・月々の払込み額×12(か月) ×これまでに払い込んだ年数 ・年間の払込み額×これまでに払い込んだ年数	1 有	2 無
(3) 株式、株式投資信託、債券、公社債投資信託、金銭信託・貸付信託 (株式等は6月末日の時価、債券等は額面で計算)	1 有	2 無
(4) その他の預貯金 (財形貯蓄、社内預金等)	1 有	2 無

(1)~(4)のいずれかが「有」の世帯のみ右欄に合計金額を記入してください。  万円

質問2 あなたの世帯の貯蓄現在高は昨年 (平成18年6月末日) と比べて変わりましたか。
あてはまる番号に○をつけてください。

1 増えた
2 変わらない
3 減った

→ 減少額 万円

→ その理由を○で囲んでください (あてはまる番号すべてに○)。

- 1 日常の生活費への支出
- 2 土地・住宅の購入費
- 3 入学金、結婚費用、旅行等の一時的な支出
- 4 株式等の評価額の減少
- 5 その他

質問3 あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金はありますか (平成19年6月末日現在)。
あてはまる番号に○をつけてください。

1 借入金あり 2 借入金なし

↓

1に○をつけた方は、借入金の合計金額について、記入してください。

万円

ご協力ありがとうございました。

調査名	医療施設調査(医療施設静態調査(以下「静態調査」)及び医療施設動態調査(以下「動態調査」))
URL	http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/08/index.html http://www.mhlw.go.jp/toukei/chousahyo/index.html (調査票一覧)
調査の頻度	「静態調査」3年毎 「動態調査」毎月
最新調査年	「静態調査」平成20年
調査の目的	この調査は、全国の医療施設(医療法(昭和23年法律第205号)に定める病院・診療所)の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。
調査の沿革	この調査は、昭和23年に行われた「施設面からみた医療調査」を前身としており、昭和28年に統計法(昭和22年法律第18号)に基づき医療施設調査規則(昭和28年厚生省令第25号)を定め、指定統計(第65号)となった。 昭和47年までは毎年調査していたが、昭和48年に医療施設調査規則の改正を行い、全医療施設の詳細な実態を把握することを目的とした「医療施設静態調査」(以下「静態調査」という。)を昭和50年から3年ごとに実施するとともに、医療施設から提出される開設・廃止等の申請・届出に基づき「医療施設動態調査」(以下「動態調査」という。)を毎月実施することとし、現在に至っている。 なお、静態調査は昭和56年までは12月末現在で調査していたが、昭和59年からは10月1日現在で調査して
調査の対象及び客体	「静態調査」調査時点で開設している全ての医療施設 「動態調査」開設・廃止等のあった医療施設 医療施設には、往診のみの診療所、沖縄県における介輔診療所を含むが、助産所、介護老人保健施設、保健所は除く。
調査の方法及び系統	「静態調査」医療施設の管理者が自ら調査票に記入する自計方式による。 「動態調査」開設・廃止等の申請・届出に基づいて、都道府県知事又は保健所を設置する市・特別区の長が動態調査票を記入する方式による。
調査の期日及び期間	「静態調査」平成20年10月1日現在 「動態調査」平成19年10月1日から1年間
調査事項	「静態調査」施設名、施設の所在地、開設者、許可病床数、診療科目、従事者数、看護体制、救急医療体制、 在宅医療サービス、主な診療機器・設備、手術等の実施状況、その他関連する事項 「動態調査」施設名、所在地、開設者、許可病床数、診療科目等
結果の集計調査票等	厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。 次ページに添付(平成20年度)
集計客体数	平成20年10月1日現在における全国の医療施設総数は178,028施設で、そのうち、「休止・1年以上休診中」の施設を除いた「活動中の施設」は175,656施設(医療施設総数の98.7%)となっている。
他の調査との関連	
関連情報URL	平成20年に実施される医療施設調査及び患者調査の改正内容(内閣府統計委員会・第5回人口・社会統計部会配布資料): http://www5.cao.go.jp/statistics/meetings/jinkou_5/siryou_2-3.pdf
関連出版物	厚生労働省大臣官房統計情報部:医療施設調査病院報告 平成19年上巻 動態調査 全国編・厚生統計協会, 2009. 厚生労働省大臣官房統計情報部:医療施設調査病院報告 平成19年下巻 動態調査 都道府県編・厚生統計協会, 2009.
関連論文例	柴田匡邦, 田村俊次, 野川裕記, 高田英明, 島陽一郎, 永田宏, 田中博:近年における勤務医の仕事量の検討. 日本医療・病院管理学会誌 2008, 45(2): 123-131. 松本邦愛, 田中政信, 前村俊満, 平尾智広, 長谷川敏彦, 長谷川友紀:産科・産婦人科医師の需給と地域偏在に関する研究. 病院管理 2007, 44(2): 93-103. 古川雅一:喫煙や歯磨き習慣が歯周疾患受療率に与える影響に関する研究. Health Sciences 2007, 23(1): 64-70. 阿部幹佳:精神病院で就業する看護者の資格と性別の実態 一般病院との比較から. 宮城大学看護学部紀要 2006, 9(1): 51-57.
調査精度に関する課題	



医療施設静態調査

病院票

厚生労働省

(平成20年10月1日現在)

※ 整理番号									
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※ 保健所 符号					
----------------	--	--	--	--	--

※ 市区町村 符号					
-----------------	--	--	--	--	--

注:※印の箇所は、記入しないでください。

(1) 施設の所在地

(2) 施設名

〒 TEL

(3) 休止・休診の
状況

1 休止中

2 1年以上休診中

3 1年未満休診中

(4) 開設者 01~27のあてはまるものひとつに○ * の開設者のうち、医育機関は28にも○	(6) 診療科目 あてはまるものすべてに○				(7) 患者数		(8) 科目別の医師数 (常勤換算) 小数点以下第2位四捨五入	
	標ぼう	休診中	9月の 曜日の 特定	標ぼうしている科目と、9月中休診していた科目、特定の日のみ開設している科目に○をつけてください。	9月中の 外来患者延数	9/30の 在院 患者数	男性医師	女性医師
01 厚生労働省	01	01	01	内科	人	人	. 人	. 人
02 独立行政法人国立病院機構	02	02	02	呼吸器内科	人	人	. 人	. 人
03 国立大学法人*	03	03	03	循環器内科	人	人	. 人	. 人
04 独立行政法人労働者健康福祉機構	04	04	04	消化器内科(胃腸内科)	人	人	. 人	. 人
05 その他	05	05	05	腎臓内科	人	人	. 人	. 人
06 都道府県*	06	06	06	神経内科	人	人	. 人	. 人
07 市町村*	07	07	07	糖尿病内科(代謝内科)	人	人	. 人	. 人
08 地方独立行政法人*	08	08	08	血液内科	人	人	. 人	. 人
09 日赤	09	09	09	皮膚科	人	人	. 人	. 人
10 済生会	10	10	10	アレルギー科	人	人	. 人	. 人
11 北海道社会事業協会	11	11	11	リウマチ科	人	人	. 人	. 人
12 厚生連	12	12	12	感染症内科	人	人	. 人	. 人
13 国民健康保険団体連合会	13	13	13	小児科	人	人	. 人	. 人
14 全国社会保険協会連合会	14	14	14	精神科	人	人	. 人	. 人
15 厚生年金事業振興団	15	15	15	心療内科	人	人	. 人	. 人
16 船員保険会	16	16	16	外科	人	人	. 人	. 人
17 健康保険組合及びその連合会	17	17	17	呼吸器外科	人	人	. 人	. 人
18 共済組合及びその連合会	18	18	18	循環器外科(心臓・血管外科)	人	人	. 人	. 人
19 国民健康保険組合	19	19	19	乳腺外科	人	人	. 人	. 人
20 公益法人	20	20	20	気管食道外科	人	人	. 人	. 人
21 医療法人	21	21	21	消化器外科(胃腸外科)	人	人	. 人	. 人
22 私立学校法人*	22	22	22	泌尿器科	人	人	. 人	. 人
23 社会福祉法人	23	23	23	肛門外科	人	人	. 人	. 人
24 医療生協	24	24	24	脳神経外科	人	人	. 人	. 人
25 会社	25	25	25	整形外科	人	人	. 人	. 人
26 その他の法人	26	26	26	形成外科	人	人	. 人	. 人
27 個人	27	27	27	美容外科	人	人	. 人	. 人
28 医育機関(再掲)	28	28	28	眼科	人	人	. 人	. 人
(5) 許可病床数等	29	29	29	耳鼻いんこう科	人	人	. 人	. 人
精神病床	30	30	30	小児外科	人	人	. 人	. 人
感染症病床	31	31	31	産婦人科	人	人	. 人	. 人
結核病床	32	32	32	産科	人	人	. 人	. 人
療養病床	33	33	33	婦人科	人	人	. 人	. 人
介護保険適用分(再掲)	34	34	34	リハビリテーション科	人	人	. 人	. 人
一般病床	35	35	35	放射線科	人	人	. 人	. 人
合計	36	36	36	麻酔科	人	人	. 人	. 人
回復期リハビリテーション 病棟(再掲)	37	37	37	病理診断科	人	人	. 人	. 人
療養病床	38	38	38	臨床検査科	人	人	. 人	. 人
認知症病棟(再掲)	39	39	39	救急科	人	人	. 人	. 人
介護保険移行準備病棟(再掲)	40	40	40	歯科	人	人	. 人	. 人
老人性認知症疾患療養病棟(再掲)	41	41	41	矯正歯科	人	人	. 人	. 人
経過型介護療養型医療施設(再掲)	42	42	42	小児歯科	人	人	. 人	. 人
	43	43	43	歯科口腔外科	人	人	. 人	. 人

(9) 9月中の外来患者					(18) 表示診療時間の状況				
初診の患者の数		人			通常の1週間の診療時間 (時間)				
診療時間外に受診した患者の延数		人			表示診療時間				
緊急入院した患者の延数(再掲)		人			通常診療している時間帯に○をつけ、「3」に○をつけた場合は、括弧内に18時以降の表示診療時間を記入してください。				
乳幼児(3歳未満)の延数(再掲)		人			平日は、診療時間が同じ曜日に○をつけ、まとめて記入してください。				
(10) 社会保険診療等の状況 いずれかに○					午前				
1 保険医療機関					午後				
2 自由診療のみ					18時以降				
(11) 承認等の状況 あてはまるものすべてに○					(月・火・水・木・金) 1 2 3 (時 分 迄)				
1 地域医療支援病院 4 在宅療養支援病院					(月・火・水・木・金) 1 2 3 (時 分 迄)				
2 災害拠点病院 5 該当なし					(月・火・水・木・金) 1 2 3 (時 分 迄)				
3 開放型病院					(月・火・水・木・金) 1 2 3 (時 分 迄)				
(12) 臨床研修医 いる場合は10月1日現在の人数を記入してください。					平日				
1 いる (人)					土曜日				
2 いない					日曜日				
(13) 退院調整支援担当者 いる場合は10月1日現在の人数を記入してください。					休日				
1 いる (人) *退院調整加算の施設基準を満たす場合のみ					1 2 3 (時 分 迄)				
2 いない					1 2 3 (時 分 迄)				
(14) 診療録管理専任従事者 いる場合は10月1日現在の人数を記入してください。					1 2 3 (時 分 迄)				
1 いる (人)					1 2 3 (時 分 迄)				
2 いない					1 2 3 (時 分 迄)				
(15) 定期的な臨床病理学的症例検討会(CPC)の実施 いずれかに○					(19) 委託の状況				
1 している					全部委託				
2 していない					一部委託				
(16) 健診・保健指導 実施している場合は、あてはまるものすべてに○					院内委託				
生活習慣病に関連する健診		生活習慣病に関連する保健指導			院内委託				
1 実施している		1 実施している			院外委託				
2 実施していない		2 実施していない			院外委託				
(17) 救急医療体制 各項目について、いずれかひとつに○					委託していない				
救急告示の有無					給食(患者用)				
1 有 2 無					1 2 3 4 5				
救急医療体制					減菌(治療用具)				
1 初期救急医療体制 2 入院を要する救急医療体制					1 2 3 4 5				
3 救命救急センター 4 体制なし					保守点検業務(医療機器)				
夜間(深夜も含む)救急対応の可否					1 2 3 4 5				
ほぼ毎日可能 週3~5日可能 週1~2日可能 ほとんど不可能					1 2 3 4 5				
内科					1 2 3 4 5				
小児科					1 2 3 4 5				
外科					1 2 3 4 5				
脳神経外科					1 2 3 4 5				
産科					1 2 3 4 5				
多発外傷への対応					1 2 3 4 5				
(20) 受動喫煙防止対策の状況 いずれかひとつに○					(21) 禁煙外来等 各項目について、いずれかひとつに○				
1 敷地内を全面禁煙としている					禁煙外来の有無				
2 施設内を全面禁煙としている					1 有 2 無				
3 喫煙場所を設置し、非喫煙場所に煙が流れ出ないように措置している					ニコチン依存症管理料の算定				
4 その他(1~3以外の措置を講じている)					1 有 2 無				
5 何ら措置を講じていない					1 有 2 無				
(22) 保育施設・子育て支援の状況 各項目についてあてはまるものすべてに○					職員のための院内保育サービスの状況				
1 院内の施設を利用					夜間保育 1 有 2 無				
2 院外の施設を利用					病児保育 1 有 2 無				
3 していない					施設の利用者				
1 男性職員の育児時間					1 自施設の医師・歯科医師				
2 男性職員の出産休暇					2 自施設の看護師・准看護師				
3 代替職員の配置					3 その他の自施設の職員				
4 休業中の職員への情報提供					4 併設施設の職員				
5 再就業する職員への研修					5 その他				
6 フレックスタイム					子育て支援の状況 導入しているものすべてに○				
7 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ					1 男性職員の育児時間				
8 育児費用の援助措置					2 男性職員の出産休暇				
1 体制あり 2 体制なし					3 代替職員の配置				
夜間(深夜も含む)救急対応の可否					4 休業中の職員への情報提供				
ほぼ毎日可能 週3~5日可能 週1~2日可能 ほとんど不可能					5 再就業する職員への研修				
1 2 3 4					6 フレックスタイム				
精神科					7 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ				
1 2 3 4					8 育児費用の援助措置				

(23) 診療情報管理の状況					(27) 在宅医療サービスの実施状況 併設施設によるサービスを除く。 実施の有無に○をつけ、9月中の件数を記入してください。					
オーダリングシステムの導入状況 導入しているもの全てに○		医用画像管理システム(PACS)の導入状況			医療保険等による在宅サービス					
1 検査	2 放射線	3 薬剤	4 栄養	5 導入していない	1 有	↳ フィルムレス運用 1 完全実施 2 一部実施 2 無				
(24) 電子カルテシステムの導入状況					介護保険等による在宅サービス					
1 医療機関全体として導入している		活用状況の範囲			1 実施している 2 実施していない					
2 医療機関内の一部に導入している		1 自施設内			往診 01 件					
3 具体的な導入予定がある		2 患者へ情報提供			在宅患者訪問診療 02 件					
4 導入予定なし		3 他の医療機関等と連携			歯科訪問診療 03 件					
		導入予定時期			救急搬送診療 04 件					
		1 平成20年度			在宅患者訪問看護・指導 05 件					
		2 平成21年度			精神科在宅患者訪問看護・指導 06 件					
		3 平成22年度			在宅患者訪問リハビリテーション指導管理 07 件					
		4 平成23年度以降			訪問看護ステーションへの指示書の交付 08 件					
(25) 遠隔医療システムの導入状況					在宅看取り 09 件					
遠隔画像診断	1 有 →	受信	依頼元施設数 (施設)		介護保険による在宅サービス					
	2 無	送信	依頼先施設数 (施設)		1 実施している 2 実施していない					
遠隔病理診断	1 有 →	受信	依頼元施設数 (施設)		居宅療養管理指導(介護予防サービスを含む) 10 件					
	2 無	送信	依頼先施設数 (施設)		訪問看護(介護予防サービスを含む) 11 件					
在宅療養支援	1 有 →	受信	依頼元患者数 (人)		訪問リハビリテーション(介護予防サービスを含む) 12 件					
	2 無									
(26) 医療安全体制 各項目について、あてはまるものひとつに○ * 医療安全に関する体制の責任者について、専任・兼務の別を記入してください。					(28) 特殊診療設備					
責任者の資格と専任・兼務の別	医療安全体制(全般)	院内感染防止対策	医療機器安全管理	医薬品安全管理	* 施設基準を満たすもののみ記入 ** 総合周産期特定集中治療室管理料の施設基準に掲げられるものを含む。		病床数	9月中の取扱患者延数		
医師	1	1	1	1	特定集中治療室(ICU)*	01	床	人		
歯科医師	2	2	2	2	脳卒中集中治療室(SCU)*	02	床	人		
薬剤師	3	3	3	3	心臓内科系集中治療室(CCU)	03	床	人		
看護師	4	4	4	4	新生児特定集中治療室(NICU)**	04	床	人		
診療放射線技師	5	5	5		母体・胎児集中治療室(MFICU)*	05	床	人		
臨床検査技師	6	6	6		広範囲熱傷特定集中治療室*	06	床	人		
臨床工学技士	7	7	7		小児集中治療室(PICU)	07	床	人		
その他	8	8			無菌治療室(手術室は除く)*	08	床	人		
配置していない	9	9			放射線治療病室*	09	床	人		
専任	1	1	1	1	外来化学療法室	10	床	人		
兼務	2	2	2	2	(29) 検査等の実施状況					
医療機器と医薬品安全管理責任者を兼務(再掲)				3	* 患者数には手術に伴うものを含む。		9月中の患者数	装置の台数		
院内感染防止対策のための施設内回診の頻度					骨塩定量測定		01	人		
1 ほぼ毎日	2 週1回以上	3 月2~3回程度			気管支内視鏡検査*		02	人		
4 月1回程度	5 月1回未満				上部消化管内視鏡検査*		03	人		
医療機器安全体制の保守計画の管理					大腸内視鏡検査*		04	人		
保守計画の策定					血管連続撮影		05	人		
1 一括管理	2 病棟・部門ごと	3 その他			DSA(再掲)		06	人		
保守計画の実施					循環器DR(再掲)		07	人		
1 一括管理	2 病棟・部門ごと	3 その他			マンモグラフィ		08	人	台	
患者相談担当者の配置の有無					RI検査(シンチグラム)		09	人	台	
1 有	2 無				SPECT(再掲)		10	人	台	
					PET		PET	11	人	台
					CT		PETCT	12	人	台
					MRI		マルチスライスCT	13	人	台
							その他のCT	14	人	台
							1.5テスラ以上	15	人	台
							1.5テスラ未満	16	人	台
					3D画像処理		17	人		
					冠動脈CT・心臓MRI(再掲)		18	人		

(30) 手術等の実施状況				(33) 歯科設備 保有しているものすべてに○					
		9月中の実施件数		1	歯科診療台 (台)				
全身麻酔(静脈麻酔は除く)	01		件	2	パノラマX線装置	5	超音波歯石除去器		
内視鏡下消化管手術	02		件	3	オートクレーブ	6	口腔内画像処理システム		
悪性腫瘍手術	03		件	4	生体モニター	7	吸入鎮静装置		
食道がん(再掲)	04		件	(34) 薬剤管理指導・処方の状況 9月中の実施状況					
肺がん(再掲)	05		件	入院患者への薬剤管理指導(9月中の薬剤管理指導料の回数)			回		
胃がん(再掲)	06		件	外来患者への処方数 (9月中の延回数)	院内処方数	回			
肝臓がん(再掲)	07		件	院外処方せん交付数			回		
胆嚢がん(再掲)	08		件	医療用麻薬の処方	1 有	2 無			
膵臓がん(再掲)	09		件	(35) 剖検					
大腸がん(再掲)	10		件	剖検の有無					
腎がん(再掲)	11		件	1 している 9月中の剖検 (件)					
前立腺がん(再掲)	12		件	2 していない					
乳がん(再掲)	13		件	9月中の死亡数 (人)					
子宮がん(再掲)	14		件	剖検をしていない場合も、9月中の死亡数を記入してください。					
人工透析 (人工透析装置の台数)	15		件	(36) 病棟における看護職員の勤務体制					
分娩(正常分娩を含む)	16		件	看護師、准看護師の勤務体制を病棟別に記入					
帝王切開娩出術(再掲)	17		件	複数種類の病床を有する病棟は、一番多い病床に該当する病棟に記入					
分娩の取扱					配置している 看護師・ 准看護師	時間帯 (シフト)	看護単位数 (看護師・准看護師の人数別)		
1 取り扱っている							1人	2人	3人以上
↳ 担当医師数(常勤換算) (. 人) 小数点以下 担当助産師数(常勤換算) (. 人) 第2位四捨五入									
LDRの有無 1 有 (床) 2 無									
2 取り扱っていない									
(31) 放射線治療の実施状況									
患者数は、照射録の枚数又は 検査伝票を元に記入してくだ さい。			9月中の 患者数	装置の 台数					
位置決め装置	X線シミュレーター	1	人	台					
	CTシミュレーター	2	人	台					
放射線治療計画装置		3	人	台					
放射線治療(体外照射)		4	人	台					
リニアック・マイクロロン(再掲)		5	人	台					
	ガンナイフ・サイバーナイフ(再掲)	6	人	台					
放射線治療(腔内・組織内照射)		7	人	台					
RALS(再掲)		8	人	台					
IMRT(強度変調照射)等の高精度照射		9	1 有	2 無					
(32) 緩和ケアの状況 施設基準を満たしていないものも含む。									
緩和ケア病棟									
1 有									
↳ 病床数 (床)									
9月中の取扱患者延数 (人)									
2 無									
緩和ケアチーム									
1 有									
↳ 9月中の患者数 (人)									
(再掲)新規依頼患者数 (人)									
2 無									
記入例 三交代の体制をとる病棟に、20人の看護師・准看護師を配置し、 1看護単位(準夜勤 3人、深夜勤 2人)で看護している場合									
	配置している 看護師・准看護師	20 人	時間帯 (シフト)	看護単位数 (看護師・准看護師の人数別)					
三交代制			準夜勤			1			
			深夜勤		1				
記入者									
(所属)									
(氏名)									
備考									

ご協力ありがとうございました



指定統計第65号

医療施設静態調査

一般診療所票

厚生労働省

(平成20年10月1日現在)

※ 整理番号									
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※ 保健所 符号				
----------------	--	--	--	--

※ 市区町村 符号					
-----------------	--	--	--	--	--

注:※印の箇所は、記入しないでください。

(1) 施設の所在地
(2) 施設名

〒					
TEL					

(3) 休止・休診の 状況	
1	休止中
2	1年以上休診中
3	1年未満休診中

(4) 開設者 あてはまるものひとつに○		(8) 診療科目 あてはまるものすべてに○	
01 厚生労働省	国	I	01 内科
02 独立行政法人国立病院機構			02 呼吸器内科
03 国立大学法人			03 循環器内科
04 独立行政法人労働者健康福祉機構			04 消化器内科(胃腸内科)
05 その他			05 腎臓内科
06 都道府県			06 神経内科
07 市町村			07 糖尿病内科(代謝内科)
08 地方独立行政法人			08 血液内科
09 日赤			09 皮膚科
10 済生会			10 アレルギー科
11 北海道社会事業協会			11 リウマチ科
12 厚生連			12 感染症内科
13 国民健康保険団体連合会			13 小児科
14 全国社会保険協会連合会			14 精神科
15 厚生年金事業振興団			15 心療内科
16 船員保険会		II	16 外科
17 健康保険組合及びその連合会			17 呼吸器外科
18 共済組合及びその連合会			18 循環器外科(心臓・血管外科)
19 国民健康保険組合			19 乳腺外科
20 公益法人			20 気管食道外科
21 医療法人			21 消化器外科(胃腸外科)
22 私立学校法人			22 泌尿器科
23 社会福祉法人			23 肛門外科
24 医療生協			24 脳神経外科
25 会社			25 整形外科
26 その他の法人			26 形成外科
27 個人			27 美容外科
(5) 許可病床数	28 眼科		28 眼科
療養病床	29 耳鼻いんこう科		29 耳鼻いんこう科
介護保険適用分(再掲)	30 小児外科		30 小児外科
一般病床	31 産婦人科		31 産婦人科
合計	32 産科		32 産科
(6) 社会保険診療等の状況 いずれかに○	33 婦人科		33 婦人科
1 保険医療機関又は保険医	III	34 リハビリテーション科	
2 自由診療のみ		35 放射線科	
(7) 主たる診療科目		36 麻酔科	
二つ以上の科目を標ぼうしている場合、 主たる診療科目の番号を「(8) 診療科目」から ひとつ選んで記入してください。 記入例 0 1		37 病理診断科	
		38 臨床検査科	
		39 救急科	
		40 歯科	
		41 矯正歯科	
		42 小児歯科	
		43 歯科口腔外科	

次ページへ続く